



喫茶・軽食棟オープンのご案内

病院の建替工事の一環として、かねてからご意見箱への投書等でご要望のあった患者様やご家族・お見舞いの方々が、食事やお茶が飲める憩いの場の提供を目的に喫茶・軽食棟の建築を計画し、10月末に完成致しました。

喫茶・軽食棟は、ホスピタルストリートの西側に面し、喫茶・軽食コーナー・売店・社員食堂から構成されています。喫茶・軽食コーナーでは、各種軽食、手作りパン、健康を気遣う方へ野菜、果物ジュースなどをご用意しておりますのでお気軽にご利用下さい。

営業時間は下記(表)ご参照下さい。

《営業時間》

営業日	喫茶・軽食		売 店	
	開院日	閉院日	開院日	閉院日
営業時間	平日	土曜日	平日	土曜日
	9:00 18:30	9:00 16:00	8:00 19:00	10:00 15:00
席 数	22席			



ACCESS



市バス
 ■73系統(京都駅～洛西バスターミナル)
 上桂前田町下車徒歩3分
 ■69系統(みぶ～桂駅東口)
 上桂西居町下車徒歩10分

阪急電車
 ■京都線「桂駅」下車北へ徒歩15分
 タクシーで約5分

車
 ■京都方面からは西大橋から
 信号4つ目左折50m左折
 ■亀岡方面からは阪急のガードを越え
 次の信号右折50m左折

京阪京都交通バス
 ■27・21系統(桂坂中央～京都駅前)
 上桂前田町下車徒歩3分
 亀岡・園部方面から27・21系統への
 乗り継ぎは1・2系統
 国道中山(下車)乗り換え

無料送迎バス
 ■阪急桂駅西口より約20分間隔で運行中
 ※開院日以外は運休しております。

【平日】			【土曜日(開院日のみ)】		
時間	阪急桂駅西口発	三菱京都病院発	時間	阪急桂駅西口発	三菱京都病院発
8時	00 20 40	13 33 53	8時	00 20 40	13 33 53
9時	00 20 40	13 33 53	9時	00 20 40	13 33 53
10時	00 20 40	13 33 53	10時	00 20 40	13 33 53
11時	00 20 40	13 33	11時	00 20 40	13 33
12時		50 43	12時		50 43
13時	10 30 50	03 23 43	13時	10 30 50	03 23 43
14時	10 30 50	03 23 43			
15時	10 30 50	03 23 43			
16時	10 30	03 23 43			

※予告なく変更・中止する場合がございます。
 ※道路事情・その他諸事情により乗車場所が移動する場合がございます。
 ※定員オーバー、交通事情により遅れる場合がございます。ご了承下さい。
 ※開院日以外は運休しております。



◎面会時間は13:00～20:00です。 ※日曜・祝日も同じ時間です。



救急告示病院 人間ドック・検診施設機能評価認定施設
 日本医療機能評価機構認定病院 厚生労働省指定臨床研修病院

〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地 TEL 075-381-2111 FAX 075-392-7952



予約専用
ダイヤル

075-381-7811

http://www.mitsubishi-hp.jp

MITSUBISHI KYOTO HOSPITAL

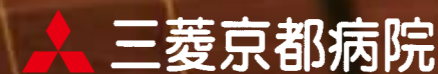
HIMAWARI

コミュニケーション誌 ひまわり



Vol.11 | 2007 WINTER

- 2 新年のご挨拶
三菱京都病院 病院長 吉田 章
- 3 診療科のご案内-1
「小児科」
- 5 診療科のご案内-2
「産婦人科」
- 7 当院の産後食
最近の話題「病院での取り組み」
- 8 NEWS 掲示板
「喫茶・軽食棟オープンのご案内」



◆ 新年のご挨拶

三菱京都病院は
皆様により良い医療をご提供するため、
たゆまぬ努力を続けてまいります。



三菱京都病院
病院長 吉田 章



新食堂



無料送迎バス

あけましておめでとうございます。

昨年は医療崩壊や病院崩壊という言葉がマスコミをにぎわせました。小児救急、産科医療の問題が大きく新聞やTVで取り上げられましたが、医療関係者と一般の健康な国民の間には感じ方にかなりの温度差があるように思います。一般の方の望みはまず国民皆保険があり、保険証さえあればいつでもどこでも医療機関にかかることができること、また夜間でも休日でも、小児科の専門医に診てもらいたい、お産や急病になったときは自分の住む町で受け入れられる病院が欲しい、救急救命センターを充実して欲しい…など。一方医療関係者側の望みはより良い医療を提供するための人的資源の投入と、医療行為に対する正当な評価です。

石油の値上がり激しくなりましたが、医療費は患者の皆さまの窓口負担がサラリーマンで1割負担から2割に、そして短期間のうちに3割になりました。こんなに短期間に物価が2倍や3倍に上がった商品が他にあるのでしょうか。しかも診療報酬は2度にわたって引き下げられており、どここの病院も青息吐息です。赤字病院の増加、病棟閉鎖や分娩取り扱いの中止などが報じられています。平成20年度からは75歳以上の後期高齢者にも1割の窓口負担と、診療内容に制限が加えられようとしています。年間問題も重要ですが、国家が長期的な展望を持って真剣に立て直さないと、わが国の医療は深刻な危機的状況になるでしょう。

当院では、平成19年2月に新病院が完成しました。患者の皆さまの期待に応えられる施設に少しでも近づけたでしょうか。また、遅くなりましたが平成19年11月から小さいながら喫茶・軽食と売店をオープンいたしました。ぜひ一度お立ち寄りください。

阪急桂方面から来院される皆さまには長い間ご不便をおかけしましたが、阪急桂駅と病院間の無料送迎バスは試験運行が好評であったため、平成19年10月より時刻表を一部増便して本運行しております。ご利用よろしくお祈りいたします。

われわれはより良い医療を提供できるよう努力を続けていきます。

最後になりましたが、今年が皆さまにとって良い年であることを心よりお祈り申し上げます。



診療科のご案内 1

小児科

小児科
副部長 野崎 浩二



プロフィール

専門 小児循環器。新生児。心血管系の画像診断。
自己紹介 1988年京都大学卒業。
京大小児科入局。
趣味は、音楽、古典芸能(特に狂言、落語)、
おもちゃと絵本。
日本小児科学会認定医

周産期チーム新生児部門の紹介

本院小児科では、以前から新生児医療に力をいれて診療にあたっておりましたが、平成19年2月に新しい新生児集中治療室が完成し、新病棟にて診療を行っております。

まず病棟についてご説明申し上げますと、病棟は重症度が高く、人工呼吸器による呼吸管理や、中心静脈栄養等の点滴治療が必要な赤ちゃんを診させていただくための部屋(NICU: Neonatal Intensive Care Unit)と、比較的軽症で、上記のような重装備での治療がいらぬが点滴等での治療、経過観察が必要な赤ちゃんや、NICUで集中治療を受けたあと、順調に回復し元気に育ってきた退院前の赤ちゃんを診させていただくための部屋(GCU: Growing Care Unit)に分かれております。入院できる赤ちゃんの数はそれぞれ6名となっております。



NICU



GCU

入院される赤ちゃんの主な病状

最も多いのは、早産低出生体重児です。その体重により、出生時体重が1500g未満の方は極低出生体重児、1000g未満の方は超低出生体重児として、より重症度が上がりますが、いずれも本院で診療させていた



だいています。これらの小さな赤ちゃんにおいては、当初の点滴治療は必須で、中心静脈からの点滴も頻繁に使用しており、栄養管理や昇圧剤、呼吸促進剤、抗生剤等の必要な薬剤の投与を行っております。そして初期の重要な合併症である呼吸障害について様々な程度の治療が必要になってきますが、気管内挿管による人工呼吸器での呼吸管理、肺を持続的に軽く加圧し肺の虚脱を防止また無呼吸を予防するネーザル DPAPの使用、未熟な肺を治すための気管内へのサーファクタント注入等を行っております。急性期をすぎても貧血、くる病、甲状腺機能異常など起こりうる種々の問題について定期的にチェックし、必要に応じて加療いたします。その他、成熟児でも、先天異常、感染症、仮死、脱水、黄疸、消化管異常、その他多様な疾患に対し、入院加療を行っております。

より専門的な病態については他科との連携により診療にあたっています。日々行う画像診断については、放射線科医とともに、毎週1回以上の画像カンファレンスを行い、詳細かつ正確な画像診断をこころがけています。呼吸管理における、体位交換、呼吸理学療法についても、理学療法士によるアドバイスや理学療法の施行を受けています。口腔外科と協力しながら、唇裂口蓋裂の児の全身管理と初期の口蓋プレート作成から授乳指導を行い、退院後の根治手術につながる、口腔外科的治療を行っています。また、週数の浅い早産児においては、定期的に眼科受診し、未熟児網膜症のチェックを行い、またその他の目に関する様々な問題について、眼科の専門的な治療を受けています。また、新生児は皮膚のトラブルが多く発生しますが、適宜皮膚科医による診察と加療、スキンケアの指導を受けています。そして重症度の高い先天性心疾患について、診断と初期の内科的治療を行い、将来のあるいは緊急的な心臓外科手術につなげています。また耳鼻科との協力では上気道や耳、鼻の問題、精査加療をすすめています。外科的または整形外科的疾患については院内の外科医、整形外科医の診察と加療を受け、本院でできない特殊な手術治療は外科医のアドバイスも受けながら、初期の内科的治療を行い、専門施設での根治手術につなげています。

新生児の診療

新生児の診療においては、看護的介入が非常に大きなウェイトを占めますが、ディベロブメンタルケアの考え方を基本にして、できるだけストレスの少ない、



赤ちゃんに優しいケアをこころがけています。そして多様な看護処置のすべてについて、日々検討し、改善を加えて赤ちゃんが、

より快適な入院生活をおくっていただけるよう、努力しています。

以上のような病気をもった赤ちゃん、やむをえず入院が必要になった赤ちゃんのご家族、特にお母さんの精神的な負担はとても大きいと考えますが、それをやわらげる工夫として、日々の面会時に、医師または看護師から、できるだけ丁寧に赤ちゃんの状態についてご家族にご説明させていただくようにしています。また、面会ノートというものを作って、毎日の赤ちゃんの様子をお伝えしたり、ご家族から赤ちゃんへのメッセージを書き込んでいただけるようにしています。また、院内の臨床心理士による心理的サポートもできるようになりましたので、ご家族の精神的負担の軽減へのお手伝いができるかと思えます。



終わりに

本院新生児部門のめざす医療は、病院の基本理念と同様、“高度であたたかい医療”です。

すべてのスタッフが個々にまたチームとして日々研鑽し、診療内容の向上につとめつつ、最大限の愛情をもって赤ちゃんの診療にあたりたいと考えています。



診療科のご案内 2

産婦人科

産婦人科

院長補佐 堀江 克行



プロフィール

専門 不妊症・内分泌異常・周産期医療・腫瘍治療。

自己紹介 1973年関西医科大学卒業。

京大産婦人科入局。
趣味は、ゴルフ・鮎釣り。
日本産婦人科学会専門医
母体保護法指定医
日本医師会産業医
京都産婦人科医会理事



周産期医療とは

周産期とは妊娠満22週から生後満7日未満までの期間をいい、合併症妊娠や分娩時の新生児仮死など、母体・胎児や新生児の生命にかかわる事態が発生する可能性があります。

周産期を含めた前後の期間における医療は、突発的な緊急事態に備えて産科・小児科双方からの一貫した総合的な体制が必要であり、特に周産期医療と表現されています。

1997年11月に京都赤十字病院を中心に、近隣の病院で組織された周産期医療ネットワーク^{*}が作られました。当院は発足時より参画しており、西京区にお



いて他の病院が産婦人科医師不足という状況の中、5人の産婦人科医師が勤務してい

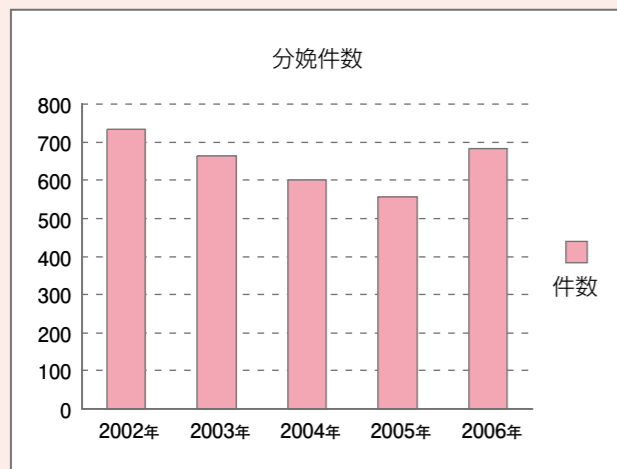


る基幹病院となっています。

市内で唯一LDR(L=Labor:陣痛、D=Delivery:分娩、R=Recovery:回復室)を4室備え(その内の1室は緊急手術にも耐えられる設備を備えている)、患者さまが安心してお産を迎えられるよう産科医師・小児科医師・助産師・看護師のチームプレーで高度な周産期医療を実践しています。また、アロマセラピーや、出産直後より骨盤ケアを実施するなど産後のケアにも取り組んでいます。

突発的な事態が発生した場合にもNICUを併設していますので小児科医師のサポートを受けられるため赤ちゃんにも安全なお産を行えます。

^{*}1996年に厚生省より通知された周産期医療対策事業実施要綱に基づき、各都道府県レベルで総合的な周産期医療体制の確立を図り、効果的な周産期医療システムを構築することとなった。その為に参画する病院の空床状況などを公開し、地域の個人医院からのリスクの高いお産などを受け入れる体制を組んでいる。



分娩件数

京都府周産期救急システム認定病院一覧

- 京都第一赤十字病院
- 田辺中央病院
- 独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター
- 公立南丹病院
- 済生会京都府病院
- 三菱京都病院
- 京都府立医大附属病院
- 市立福知山市民病院
- 京都大学附属病院
- 舞鶴共済病院
- 公立山城病院
- 日本パプテスト病院
- 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター
- 与謝の海病院
- 宇治徳州会病院
- 京都桂病院
- 京都市立病院
- 京都第二赤十字病院

当院での分娩件数は平成18年で683件であり、京都市下基幹病院中トップを維持しています。分娩方針は基本的には自然分娩ですが予定日超過、微弱陣痛等には、分娩誘導・陣痛促進を行う場合もあります。VBAC(前回帝王切開後の経膈分娩)はもちろん骨盤位の経膈分娩も可能な限り行っています。産後の経過としては、自然分娩の場合では分娩後1日目から母児同室となり、帝王切開であっても術後3日目より母児同室を目指すことで、良好な親子関係の形成に心がけています。

また、助産師による乳房管理に力を入れており、助産師の指導により90%以上の高い率で完全母乳育児が確立されています。

さらに退院後も母乳外来や健やかなベビーのためのベビーマッサージ教室という形でかわりを持ち、継続した育児支援を行っています。



当院の産後食

栄養管理部

患者様に安心して召し上がっていただける安全な食事の提供に努めます

1 食材は、全て産地管理を行っており安心して召し上がっていただけるように配慮しています。

★野菜・果物などは一部外国産を利用していますが、安心して召し上がっていただける物を厳選しています。

2 見栄えだけでなく、塩分はもちろん、授乳期に必要な栄養バランスのとれた食事となっております。

産後の方はたんぱく質やビタミン・ミネラルを強化する必要がありますので、湯葉や京野菜を使った一品をお付けする事で、バランスをとっております。

レシピもお付けいたしますので、「家庭でも作ることができる」と好評をいただいております。



3 和食を中心に、ヘルシーにしています。

もちろん洋食等も献立にありますが、近年の食生活の欧米化に伴い「和食離れ」をしているお母さんも多く見られ、すこしでも和食に慣れていただければ、と考えております。また産後の体重増加を気にされる方も大変多く、季節の野菜や根菜類をふんだんに取り入れたヘルシーな食事をご用意しています。

4 おやつも手作りにしています。

市販のケーキや菓子などに比べ、砂糖やバターの使用量の調整が出来る手作りのおやつは、低カロリーであっさりとした口当たりになります。食品添加物の使用も最小限に抑えることが出来ますので安心です。



御祝い膳

頑張ったお母さんを少しでも御祝いできれば…との気持ちから出産数日後に「御祝い膳」をお出ししています。

ダイルームで同じ時期に出産されたお母さんと赤ちゃんが同じ机を囲んで、にこやかにお食事をされている姿を見て一同嬉しく思っています。

今後も皆様に安心して喜んでいただける食事を目指して、頑張っていきます。

春の物
果物
お吸い物
お浸し
お豆腐のサラダ
鱈の
きのこソースかけ
牛ヒレ肉の
和風ステーキ
ゆかりご飯
おしながき



TOPICS 最近の話題 産科病棟での取り組み

様々な取り組みで、出産・育児に関する不安をしっかりサポート！
どんなお悩みでも、私たちにお任せください。

インターネット・テレビ・雑誌などでは、おしゃれな妊娠出産に関する情報があふれています。その一方、普通に子育てしたり母乳哺育を当たり前にするのが難しくなっています。当産科病棟では、開設当時より一環して自然分娩・母乳育児にこだわってきました。私たちはその長年のノウハウと多様化する妊産婦様のニーズに応えた最新の情報を提供し、妊産婦様やそのご家族に寄り添い出産・育児のサポーターとなれるような取り組みをしています。

●●妊娠期のマザークラスの取り組み●●

少しでも不安や悩みを吹き飛ばして元気に楽しく、パートナーの為になり、体が楽になることを目指して実技などを充分にもりこんだ参加型のマザークラスとし、回数も1ヶ月5回としました。

※予約制、都合により日時の変更もあります。

- らくらく お産教室
(第1木曜日と第3土曜日、同内容なのでどちらか1日の参加でパートナーの立会い分娩が可能となります)
- ごくごく おっぱい教室
(第2木曜日)
- わくわく マタニティ教室
(第3木曜日)
- すくすく 子育て教室
(第4木曜日)

●●分娩期の取り組み●●

4室あるLDRの中ではリラックスしたアロマの香りに包まれ、安全で安心な分娩となるような援助を目指しています。産科医師・小児科医師・助産師・看護師のチームプレーで高度な周産期医療を実践しています。出産直後より骨盤ケアを実施し産後の回復を助けます。



●●産褥期の取り組み●●

母乳育児の確立とスムーズな親子関係の確立に努め、退院後の幸せなご家族の生活のスタートが切れるように援助いたします。

●●退院後の取り組み●●

1ヶ月検診時の助産師による母乳相談・母乳育児でのトラブル発生時の母乳外来・健やかなベビーのためのベビーマッサージ教室を開催しています。

